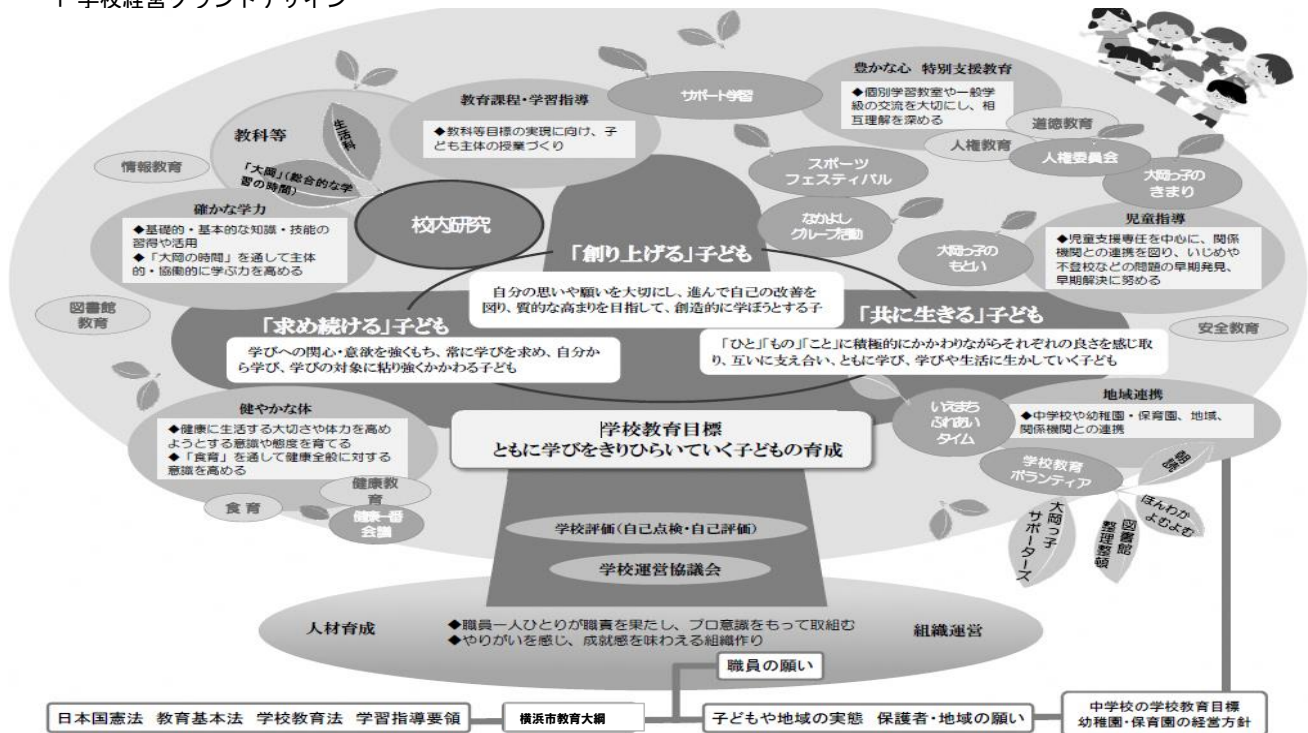


I 全体計画

1 学校経営グランドデザイン



上の図は、学校経営の全体像を表している。学校教育目標は、「ともに学びをきりひらいていく子どもの育成」であり、目も像として「求め続ける」「創り上げる」「共に生きる」子どもを設定している。これらは教育活動全体を通して実現を目指すものと位置づけている。さらに、学校教育目標に直結する取組として、生活科・総合的な学習の時間を重視し、研究として取り上げている。（目指す子ども像の具体の姿の詳細は、研究概要8ページの「参考資料」として掲載した。）

2 生活科と学校教育目標の関連

学校教育目標		
ともに学びをきりひらいていく子どもの育成		
目指す子ども像		
「求め続ける」子ども	「創り上げる」子ども	「共に生きる」子ども
学びへの関心・意欲を強くもち、常に学びを求め、自分から学び、学びの対象に粘り強くかかわる子ども	自分の思いや願いを大切に、進んで自己の改善を図り、質的な高まりを目指して、創造的に学ぼうとする子ども	「ひと」「もの」「こと」に積極的にかわりながらそれぞれの良さを感じ取り、互いに支え合い、ともに学び、学びや生活に生かしていく子ども
A.対象に心を寄せる B.目標や願いを高める C.自分の学びや成長を振り返る	D.目標や願いの実現を構想する E.問題に気付き、見通しをもつ F.多様な情報を整理しとらえる	G.人や社会とつながる H.他者と向き合い協働する
生活科の目標		
具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
(1) 【知識、技能の基礎】 (対象についての気付き) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会および自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。	(2) 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。	(3) 【学びに向かう力、人間性等】 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自身をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。